

「学力向上ポートフォリオ(学校版)」

～ 「真の学力」 育成の継続的な取組を目指して ～

＜本年度の学力向上基本方針＞

学校教育目標「豊かな子 たくましい子 かしこい子」

- 「よい授業」を目指した授業改善
- 学力・学習状況調査（国・市）等の調査結果の活用
- 少人数指導の充実
- 学習規律の定着
- 家庭学習の取組の充実

＜本年度の学力向上策＞

本校は平成 28・29 年度さいたま市教育委員会委嘱「基礎学力向上」の研究指定を受け、算数・国語を中心に基礎学力の向上に努めてきた。その成果と課題を受け、平成 30 年度からは国語科に窓口を絞り、自分の考えをもち、豊かな表現で他者に伝えることができる児童を育てるため、「国語力向上」の研究に取り組んできた。研究主題を昨年度に引き続き、

「自分の思いや考えを豊かに表現できる児童の育成の充実 ～基礎・基本の定着を図り、表現力を高める指導の工夫～」と設定した。そして本年度は、国語科だけでなく広く他教科においても研究を続けていく。上記の学校教育目標及び経営方針や研究主題の実現を図るために、以下のような取組を行っていく。

- 授業改善
 - ・問題解決型学習（付けたい力を明確にした学習計画の作成）
 - ・既習内容を生かした解決への手立て（モデルの活用、自力解決、練り上げ）
 - ・振り返り（自分の言葉でまとめる、身に付いた力の確認）
 - ・「よい授業」分析シートの活用による 4 つの因子の向上
 - ・学校共通の授業規律の整備
 - ・研究授業の実践
- 家庭との連携
 - ・「家庭学習の手引き（低・中・高）」作成と「目指せ！家庭学習の名人」の取組
- その他
 - ・各取組の家庭への周知（学校だより、学年だより、保護者会等）

＜本年度の振り返り＞

学校課題研修「国語力向上」にともない、各教科で上記の内容に取り組んだ。授業実践を 3 回行い、全職員で協議を重ねることができた。自分の意見が持ちやすいようにワークシートを工夫したり、話し合いがしやすいように座席を変えたりする等どの学年・教科でも生かせる取組を行い、共有することができた。しかし、話し合いの質に関してはまだ児童によって差があることなど、いくつかの課題も残っている。

そこで、来年度も本年度の課題解決に向けて上記の取組を継続し、家庭や地域と連携することでさらなる学力向上に努めていく。

